

条 例 制 定 改 廃 調 書
条例改正に伴う新旧対照表
(別冊)

令和 4 年

奈良市議会 3 月定例会

条例制定改廃調書

1 名 称	奈良市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例																		
2 制定改廃の根拠法令、関係通達等	<ul style="list-style-type: none">令和 3 年人事院勧告（令和 3 年 8 月 1 0 日）特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律（令和 4 年法律第 号）	4 制定改廃の概要	<p>1. 奈良市特別職の期末手当の支給割合を改定する。</p> <p>(1) 奈良市特別職の職員の給与に関する条例</p> <p>(2) 教育長の給与に関する条例</p> <p>(3) 奈良市常勤の監査委員の給与に関する条例</p> <p>(4) 奈良市公営企業管理者の給与に関する条例</p> <p>（参考）特別職の期末手当支給月数（改正後）</p> <table><tr><th></th><th>6 月</th><th>1 2 月</th><th>合計</th></tr><tr><td>令和 2 年</td><td>1 . 7 0</td><td>1 . 6 5</td><td>3 . 3 5</td></tr><tr><td>令和 3 年</td><td>1 . 6 7 5</td><td>1 . 6 7 5</td><td>3 . 3 5</td></tr><tr><td>令和 4 年</td><td>1 . 6 2 5</td><td>1 . 6 2 5</td><td>3 . 2 5</td></tr></table>		6 月	1 2 月	合計	令和 2 年	1 . 7 0	1 . 6 5	3 . 3 5	令和 3 年	1 . 6 7 5	1 . 6 7 5	3 . 3 5	令和 4 年	1 . 6 2 5	1 . 6 2 5	3 . 2 5
	6 月	1 2 月	合計																
令和 2 年	1 . 7 0	1 . 6 5	3 . 3 5																
令和 3 年	1 . 6 7 5	1 . 6 7 5	3 . 3 5																
令和 4 年	1 . 6 2 5	1 . 6 2 5	3 . 2 5																
3 制定改廃の理由	<ul style="list-style-type: none">国家公務員の給与改定に準じて、本市の特別職の職員の期末手当の支給割合の改定等を行う。		<p>2. 令和 4 年 6 月に支給する期末手当に関する特例措置（附則第 2 項関係）</p> <p>1 により算定した額から、市長及び副市長、教育長、常勤の監査委員並びに公営企業管理者の令和 3 年 1 2 月期末手当の額に所定の割合を乗じて得た額を減じる。</p>																
5 施行期日	公布の日	所管部課	総合政策部 人事課																

奈良市特別職の職員の給与に関する条例 新旧対照表

現行	改正案
<p>(期末手当)</p> <p>第6条 期末手当の額は、給料月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額に、その額に100分の20を乗じて得た額を加算して得た額を基礎として、一般職の職員の例により支給する。ただし、奈良市一般職の職員の給与に関する条例（昭和32年奈良市条例第21号）第24条第2項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは、「<u>100分の167.5</u>」とする。</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第6条 期末手当の額は、給料月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額に、その額に100分の20を乗じて得た額を加算して得た額を基礎として、一般職の職員の例により支給する。ただし、奈良市一般職の職員の給与に関する条例（昭和32年奈良市条例第21号）第24条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは、「<u>100分の162.5</u>」とする。</p>

教育長の給与に関する条例 新旧対照表

現行	改正案
<p>(期末手当)</p> <p>第5条 期末手当は、給料月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額に、その額に100分の20を乗じて得た額を加算して得た額を基礎として、一般職の職員の例により支給する。ただし、奈良市一般職の職員の給与に関する条例第24条第2項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは、「<u>100分の167.5</u>」とする。</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第5条 期末手当は、給料月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額に、その額に100分の20を乗じて得た額を加算して得た額を基礎として、一般職の職員の例により支給する。ただし、奈良市一般職の職員の給与に関する条例第24条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは、「<u>100分の162.5</u>」とする。</p>

奈良市常勤の監査委員の給与に関する条例 新旧対照表

現行	改正案
<p>(期末手当)</p> <p>第6条 期末手当は、給料月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額に、その額に100分の20を乗じて得た額を加算して得た額を基礎として、一般職の職員の例により支給する。ただし、奈良市一般職の職員の給与に関する条例第24条第2項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは、「<u>100分の167.5</u>」とする。</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第6条 期末手当は、給料月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額に、その額に100分の20を乗じて得た額を加算して得た額を基礎として、一般職の職員の例により支給する。ただし、奈良市一般職の職員の給与に関する条例第24条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは、「<u>100分の162.5</u>」とする。</p>

奈良市公営企業管理者の給与に関する条例 新旧対照表

現行	改正案
<p>(期末手当)</p> <p>第5条 期末手当は、給料月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額に、その額に100分の20を乗じて得た額を加算して得た額を基礎として、一般職の職員の例により支給する。ただし、奈良市一般職の職員の給与に関する条例第24条第2項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは、「<u>100分の167.5</u>」とする。</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第5条 期末手当は、給料月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額に、その額に100分の20を乗じて得た額を加算して得た額を基礎として、一般職の職員の例により支給する。ただし、奈良市一般職の職員の給与に関する条例第24条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは、「<u>100分の162.5</u>」とする。</p>

条例制定改廃調書

1 名 称	奈良市一般職の職員の給与に関する条例及び奈良市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例																		
2 制定改廃の根拠法令、関係通達等	<ul style="list-style-type: none">令和 3 年人事院勧告（令和 3 年 8 月 1 0 日）一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（令和 4 年法律第 号）	4 制定改廃の概要	<p>1．一般職及び再任用の職員の期末手当の改定（第 1 条による改正）</p> <p>国家公務員の給与改定に準じ、一般職の職員及び再任用職員の期末手当の支給割合を改定する。</p> <p>2．特定任期付職員の期末手当の改定（第 2 条による改正）</p> <p>国家公務員の給与改定に準じ、特定任期付職員の期末手当の支給割合を改定する。</p> <p>（参考）一般職の期末手当支給月数（改正後）</p> <table><tr><th></th><th>6 月</th><th>1 2 月</th><th>合計</th></tr><tr><td>令和 2 年</td><td>1． 3</td><td>1． 2 5</td><td>2． 5 5</td></tr><tr><td>令和 3 年</td><td>1． 2 7 5</td><td>1． 2 7 5</td><td>2． 5 5</td></tr><tr><td>令和 4 年</td><td>1． 2</td><td>1． 2</td><td>2． 4</td></tr></table> <p>3．令和 4 年 6 月に支給する期末手当に関する特例措置（附則第 2 項関係）</p> <p>1 及び 2 により算定した額から、一般職の職員、再任用職員及び特定任期付職員の令和 3 年 1 2 月期末手当の額に所定の割合を乗じて得た額を減じる。</p>		6 月	1 2 月	合計	令和 2 年	1． 3	1． 2 5	2． 5 5	令和 3 年	1． 2 7 5	1． 2 7 5	2． 5 5	令和 4 年	1． 2	1． 2	2． 4
	6 月	1 2 月	合計																
令和 2 年	1． 3	1． 2 5	2． 5 5																
令和 3 年	1． 2 7 5	1． 2 7 5	2． 5 5																
令和 4 年	1． 2	1． 2	2． 4																
3 制定改廃の理由	<ul style="list-style-type: none">国家公務員の給与改定に準じて、特定任期付職員及び再任用職員を含む本市の一般職の職員の期末手当の支給割合の改定等を行う。																		
5 施行期日	公布の日	所管部課	総合政策部 人事課																

奈良市一般職の職員の給与に関する条例 新旧対照表（第1条による改正）

現行	改正案
<p>（期末手当）</p> <p>第24条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の127.5</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>（1）～（4） 略</p> <p>3 再任用職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは、「<u>100分の72.5</u>」とする。</p> <p>4・5 略</p>	<p>（期末手当）</p> <p>第24条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の120</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>（1）～（4） 略</p> <p>3 再任用職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の120</u>」とあるのは、「<u>100分の67.5</u>」とする。</p> <p>4・5 略</p>

奈良市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例 新旧対照表（第2条による改正）

現行	改正案
<p>(特定任期付職員の給与の特例)</p> <p>第6条 略</p> <p>2 特定任期付職員に対する給与条例第2条第1項、第22条の2第1項及び第24条第2項の規定の適用については、給与条例第2条第1項中「及び特殊勤務手当」とあるのは「、特殊勤務手当及び奈良市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成24年奈良市条例第9号）第5条第3項の規定による特定任期付職員業績手当」と、給与条例第22条の2第1項中「管理職手当の支給を受ける職員」とあるのは「管理職手当の支給を受ける職員又は奈良市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員」と、給与条例第24条第2項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは、「<u>100分の167.5</u>」とする。</p>	<p>(特定任期付職員の給与の特例)</p> <p>第6条 略</p> <p>2 特定任期付職員に対する給与条例第2条第1項、第22条の2第1項及び第24条第2項の規定の適用については、給与条例第2条第1項中「及び特殊勤務手当」とあるのは「、特殊勤務手当及び奈良市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成24年奈良市条例第9号）第5条第3項の規定による特定任期付職員業績手当」と、給与条例第22条の2第1項中「管理職手当の支給を受ける職員」とあるのは「管理職手当の支給を受ける職員又は奈良市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員」と、給与条例第24条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは、「<u>100分の162.5</u>」とする。</p>

条例制定改廃調書

1 名 称	奈良市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		
2 制定改廃の根拠法令、関係通達等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和３年人事院勧告（令和３年８月１０日） ・奈良市一般職の職員の給与に関する条例及び奈良市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例（令和４年奈良市条例第 号） 	4 制定改廃の概要	<p>１．会計年度任用職員の期末手当について、支給割合を「１００分の１２７．５」とする旨の規定の整備を行う。</p> <p>（１）フルタイム会計年度任用職員の期末手当（第１４条関係）</p> <p>（２）パートタイム会計年度任用職員の期末手当（第２４条関係）</p> <p>２．会計年度任用職員の給料月額を常勤職員と同水準に引き上げる。（別表第１関係）</p>
3 制定改廃の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員の給料月額を常勤職員と同水準に引き上げるほか、奈良市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正に伴い、会計年度任用職員の期末手当の支給割合について所要の改正を行うもの。 		
5 施行期日	公布の日、令和４年４月１日	担当課	総合政策部 人事課

奈良市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 新旧対照表

現行	改正案
<p>(フルタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第14条 給与条例第24条(第3項及び第5項を除く。)から第24条の3までの規定は、任期の定めが6箇月以上のフルタイム会計年度任用職員について準用する。この場合において、給与条例第24条第2項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは、「<u>100分の130</u>」と読み替えるものとする。</p> <p>2・3 略</p> <p>(パートタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第24条 給与条例第24条(第3項及び第5項を除く。)から第24条の3までの規定は、任期の定めが6箇月以上のパートタイム会計年度任用職員(1週間当たりの勤務時間が著しく少ない者として市長が規則で定める者及び従事する業務の性質等を考慮して市長が規則で定める者を除く。以下この条において同じ。)について準用する。この場合において、給与条例第24条第2項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは「<u>100分の130</u>」と、給与条例第24条第4項中「給料(育児短時間勤務職員にあつては、給料の月額を育児短時間勤務算出率で除して得た額)及び扶養手当の月額並びにこれらに対する地域手当の月額の合計額」とあるのは「報酬の月額(日額又は時間額で報酬が定められたパートタイム会計年度任用職員にあつては、それぞれその基準日(退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日)以前6箇月以内のパートタイム会計年度任用職員としての在職期間における報酬(フルタイム会計年度任用職員との均衡を考慮して市長が規則で定める額を除く。)の1箇月当たりの平均額)」と読み替えるものとする。</p> <p>2・3 略</p> <p>別表第1(第4条関係)</p> <p style="text-align: center;">給 料 表</p>	<p>(フルタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第14条 給与条例第24条(第3項及び第5項を除く。)から第24条の3までの規定は、任期の定めが6箇月以上のフルタイム会計年度任用職員について準用する。この場合において、給与条例第24条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは、「<u>100分の127.5</u>」と読み替えるものとする。</p> <p>2・3 略</p> <p>(パートタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第24条 給与条例第24条(第3項及び第5項を除く。)から第24条の3までの規定は、任期の定めが6箇月以上のパートタイム会計年度任用職員(1週間当たりの勤務時間が著しく少ない者として市長が規則で定める者及び従事する業務の性質等を考慮して市長が規則で定める者を除く。以下この条において同じ。)について準用する。この場合において、給与条例第24条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは「<u>100分の127.5</u>」と、給与条例第24条第4項中「給料(育児短時間勤務職員にあつては、給料の月額を育児短時間勤務算出率で除して得た額)及び扶養手当の月額並びにこれらに対する地域手当の月額の合計額」とあるのは「報酬の月額(日額又は時間額で報酬が定められたパートタイム会計年度任用職員にあつては、それぞれその基準日(退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日)以前6箇月以内のパートタイム会計年度任用職員としての在職期間における報酬(フルタイム会計年度任用職員との均衡を考慮して市長が規則で定める額を除く。)の1箇月当たりの平均額)」と読み替えるものとする。</p> <p>2・3 略</p> <p>別表第1(第4条関係)</p> <p style="text-align: center;">給 料 表</p>

現行					改正案				
職務 の級	1 級	2 級	3 級		職務 の級	1 級	2 級	3 級	
	給料月額	給料月額	給料月額			給料月額	給料月額	給料月額	
号給	円	円	円		号給	円	円	円	
1	144,100	194,000	230,000		1	146,100	195,500	231,500	
2	145,200	195,800	231,600		2	147,200	197,300	233,100	
3	146,400	197,600	233,100		3	148,400	199,100	234,600	
4	147,500	199,400	234,700		4	149,500	200,900	236,200	
5	148,600	200,900	236,100		5	150,600	202,400	237,600	
6	149,700	202,700	237,800		6	151,700	204,200	239,300	
7	150,800	204,500	239,300		7	152,800	206,000	240,800	
8	151,900	206,300	240,900		8	153,900	207,800	242,400	
9	153,000	207,900	242,100		9	154,900	209,400	243,500	
10	154,400	209,700	243,600		10	156,300	211,200	245,000	
11	155,700	211,500	245,200		11	157,600	213,000	246,600	
12	157,000	213,300	246,600		12	158,900	214,800	247,900	
13	158,300	214,700	248,100		13	160,100	216,200	249,400	
14	159,800	216,500	249,600		14	161,600	218,000	250,800	
15	161,300	218,200	250,900		15	163,100	219,700	252,100	
16	162,900	220,000	252,300		16	164,700	221,500	253,500	
17	164,200	221,700	253,800		17	165,900	223,200	255,000	
18	165,700	223,400	255,400		18	167,400	224,900	256,500	
19	167,200	225,000	257,100		19	168,900	226,500	258,200	
20	168,700	226,600	258,900		20	170,400	228,100	260,000	
21	170,100	228,000	260,500		21	171,700	229,500	261,600	
22	172,800	229,700	262,300		22	174,400	231,200	263,300	
23	175,400	231,300	264,000		23	177,000	232,800	264,900	

現行						改正案					
<u>24</u>	<u>178,000</u>	<u>232,900</u>	<u>265,700</u>			<u>24</u>	<u>179,600</u>	<u>234,400</u>	<u>266,500</u>		
<u>25</u>	<u>180,700</u>	<u>234,000</u>	<u>267,600</u>			<u>25</u>	<u>182,200</u>	<u>235,400</u>	<u>268,400</u>		
<u>26</u>	<u>182,400</u>	<u>235,500</u>	<u>269,500</u>			<u>26</u>	<u>183,900</u>	<u>236,900</u>	<u>270,200</u>		
<u>27</u>	<u>184,000</u>	<u>236,900</u>	<u>271,300</u>			<u>27</u>	<u>185,500</u>	<u>238,300</u>	<u>271,900</u>		
<u>28</u>	<u>185,700</u>	<u>238,200</u>	<u>273,100</u>			<u>28</u>	<u>187,200</u>	<u>239,500</u>	<u>273,600</u>		
<u>29</u>	<u>187,200</u>	<u>239,500</u>	<u>274,800</u>			<u>29</u>	<u>188,700</u>	<u>240,700</u>	<u>275,300</u>		
<u>30</u>	<u>188,900</u>	<u>240,700</u>	<u>276,700</u>			<u>30</u>	<u>190,400</u>	<u>241,900</u>	<u>277,000</u>		
<u>31</u>	<u>190,700</u>	<u>241,700</u>	<u>278,600</u>			<u>31</u>	<u>192,200</u>	<u>242,900</u>	<u>278,800</u>		
<u>32</u>	<u>192,400</u>	<u>242,900</u>	<u>280,300</u>			<u>32</u>	<u>193,900</u>	<u>244,100</u>	<u>280,300</u>		
<u>33</u>	<u>194,000</u>	<u>244,200</u>	<u>281,800</u>			<u>33</u>	<u>195,500</u>	<u>245,400</u>	<u>281,800</u>		
<u>34</u>	<u>195,400</u>	<u>245,300</u>	<u>283,700</u>			<u>34</u>	<u>196,900</u>	<u>246,400</u>	<u>283,700</u>		
<u>35</u>	<u>196,900</u>	<u>246,500</u>	<u>285,500</u>			<u>35</u>	<u>198,400</u>	<u>247,600</u>	<u>285,500</u>		
<u>36</u>	<u>198,400</u>	<u>247,800</u>	<u>287,400</u>			<u>36</u>	<u>199,900</u>	<u>248,900</u>	<u>287,400</u>		
<u>37</u>	<u>199,700</u>	<u>248,700</u>	<u>289,000</u>			<u>37</u>	<u>201,200</u>	<u>249,800</u>	<u>289,000</u>		
<u>38</u>	<u>201,000</u>	<u>250,100</u>	<u>290,700</u>			<u>38</u>	<u>202,500</u>	<u>251,100</u>	<u>290,700</u>		
<u>39</u>	<u>202,200</u>	<u>251,500</u>	<u>292,500</u>			<u>39</u>	<u>203,700</u>	<u>252,300</u>	<u>292,500</u>		
<u>40</u>	<u>203,500</u>	<u>252,900</u>	<u>294,300</u>			<u>40</u>	<u>205,000</u>	<u>253,600</u>	<u>294,300</u>		
<u>41</u>	<u>204,800</u>	<u>254,300</u>	<u>295,800</u>			<u>41</u>	<u>206,300</u>	<u>255,000</u>	<u>295,800</u>		
<u>42</u>	<u>206,100</u>	<u>255,700</u>	<u>297,500</u>			<u>42</u>	<u>207,600</u>	<u>256,400</u>	<u>297,500</u>		
<u>43</u>	<u>207,400</u>	<u>257,100</u>	<u>299,000</u>			<u>43</u>	<u>208,900</u>	<u>257,600</u>	<u>299,000</u>		
<u>44</u>	<u>208,700</u>	<u>258,400</u>	<u>300,600</u>			<u>44</u>	<u>210,200</u>	<u>258,800</u>	<u>300,600</u>		
<u>45</u>	<u>209,800</u>	<u>259,600</u>	<u>302,200</u>			<u>45</u>	<u>211,300</u>	<u>260,000</u>	<u>302,200</u>		
<u>46</u>	<u>211,100</u>	<u>260,900</u>	<u>303,900</u>			<u>46</u>	<u>212,600</u>	<u>261,200</u>	<u>303,900</u>		
<u>47</u>	<u>212,400</u>	<u>262,300</u>	<u>305,500</u>			<u>47</u>	<u>213,900</u>	<u>262,500</u>	<u>305,500</u>		
<u>48</u>	<u>213,700</u>	<u>263,600</u>	<u>307,200</u>			<u>48</u>	<u>215,200</u>	<u>263,600</u>	<u>307,200</u>		
<u>49</u>	<u>214,800</u>	<u>264,700</u>	<u>308,100</u>			<u>49</u>	<u>216,300</u>	<u>264,700</u>	<u>308,100</u>		
<u>50</u>	<u>215,900</u>	<u>265,800</u>	<u>309,600</u>			<u>50</u>	<u>217,400</u>	<u>265,800</u>	<u>309,600</u>		

現行						改正案					
51	216,900	267,100	311,100			51	218,400	267,100	311,100		
52	218,000	268,400	312,700			52	219,500	268,400	312,700		
53	219,100	269,400	314,300			53	220,600	269,400	314,300		
54	220,100	270,500	315,900			54	221,600	270,500	315,900		
55	221,000	271,800	317,500			55	222,500	271,800	317,500		
56	222,000	273,100	319,000			56	223,500	273,100	319,000		
57	222,400	274,000	320,500			57	223,800	274,000	320,500		
58	223,300	275,000	321,700			58	224,600	275,000	321,700		
59	224,100	275,900	322,900			59	225,400	275,900	322,900		
60	224,900	277,000	324,100			60	226,100	277,000	324,100		
61	225,600	278,100	324,800			61	226,800	278,100	324,800		
62	226,600	279,100	325,700			62	227,800	279,100	325,700		
63	227,400	280,000	326,500			63	228,600	280,000	326,500		
64	228,300	281,000	327,300			64	229,400	281,000	327,300		
65	229,000	281,500	328,200			65	230,100	281,500	328,200		
66	229,800	282,400	328,600			66	230,800	282,400	328,600		
67	230,700	283,100	329,300			67	231,700	283,100	329,300		
68	231,700	284,000	330,100			68	232,700	284,000	330,100		
69	232,400	285,000	330,900			69	233,400	285,000	330,900		
70	233,100	285,800	331,600			70	234,000	285,800	331,600		
71	233,700	286,600	332,300			71	234,500	286,600	332,300		
72	234,500	287,400	333,000			72	235,200	287,400	333,000		
73	235,300	288,200	333,500			73	236,000	288,200	333,500		
74	236,000	288,700	334,100			74	236,600	288,700	334,100		
75	236,700	289,100	334,600			75	237,200	289,100	334,600		
76	237,300	289,600	335,200			76	237,700	289,600	335,200		
77	238,000	289,800	335,500			77	238,400	289,800	335,500		

現行						改正案					
<u>78</u>	<u>238,800</u>	<u>290,100</u>	<u>336,000</u>			<u>78</u>	<u>239,100</u>	<u>290,100</u>	<u>336,000</u>		
<u>79</u>	<u>239,600</u>	<u>290,300</u>	<u>336,400</u>			<u>79</u>	<u>239,800</u>	<u>290,300</u>	<u>336,400</u>		
<u>80</u>	<u>240,300</u>	<u>290,700</u>	<u>336,900</u>			<u>80</u>	<u>240,300</u>	<u>290,700</u>	<u>336,900</u>		
<u>81</u>	<u>240,800</u>	<u>290,900</u>	<u>337,300</u>			<u>81</u>	<u>240,800</u>	<u>290,900</u>	<u>337,300</u>		
<u>82</u>	<u>241,500</u>	<u>291,100</u>	<u>337,800</u>			<u>82</u>	<u>241,500</u>	<u>291,100</u>	<u>337,800</u>		
<u>83</u>	<u>242,200</u>	<u>291,500</u>	<u>338,300</u>			<u>83</u>	<u>242,200</u>	<u>291,500</u>	<u>338,300</u>		
<u>84</u>	<u>242,900</u>	<u>291,800</u>	<u>338,800</u>			<u>84</u>	<u>242,900</u>	<u>291,800</u>	<u>338,800</u>		
<u>85</u>	<u>243,500</u>	<u>292,100</u>	<u>339,100</u>			<u>85</u>	<u>243,500</u>	<u>292,100</u>	<u>339,100</u>		
<u>86</u>	<u>244,200</u>	<u>292,400</u>	<u>339,500</u>			<u>86</u>	<u>244,200</u>	<u>292,400</u>	<u>339,500</u>		
<u>87</u>	<u>244,900</u>	<u>292,700</u>	<u>340,000</u>			<u>87</u>	<u>244,900</u>	<u>292,700</u>	<u>340,000</u>		
<u>88</u>	<u>245,600</u>	<u>293,100</u>	<u>340,400</u>			<u>88</u>	<u>245,600</u>	<u>293,100</u>	<u>340,400</u>		
<u>89</u>	<u>246,100</u>	<u>293,400</u>	<u>340,700</u>			<u>89</u>	<u>246,100</u>	<u>293,400</u>	<u>340,700</u>		
<u>90</u>	<u>246,600</u>	<u>293,800</u>	<u>341,100</u>			<u>90</u>	<u>246,600</u>	<u>293,800</u>	<u>341,100</u>		
<u>91</u>	<u>246,900</u>	<u>294,100</u>	<u>341,600</u>			<u>91</u>	<u>246,900</u>	<u>294,100</u>	<u>341,600</u>		
<u>92</u>	<u>247,300</u>	<u>294,500</u>	<u>342,000</u>			<u>92</u>	<u>247,300</u>	<u>294,500</u>	<u>342,000</u>		
<u>93</u>	<u>247,600</u>	<u>294,700</u>	<u>342,200</u>			<u>93</u>	<u>247,600</u>	<u>294,700</u>	<u>342,200</u>		
<u>94</u>		<u>294,900</u>	<u>342,600</u>			<u>94</u>		<u>294,900</u>	<u>342,600</u>		
<u>95</u>		<u>295,200</u>	<u>343,100</u>			<u>95</u>		<u>295,200</u>	<u>343,100</u>		
<u>96</u>		<u>295,600</u>	<u>343,500</u>			<u>96</u>		<u>295,600</u>	<u>343,500</u>		
<u>97</u>		<u>295,800</u>	<u>343,700</u>			<u>97</u>		<u>295,800</u>	<u>343,700</u>		
<u>98</u>		<u>296,100</u>	<u>344,100</u>			<u>98</u>		<u>296,100</u>	<u>344,100</u>		
<u>99</u>		<u>296,500</u>	<u>344,500</u>			<u>99</u>		<u>296,500</u>	<u>344,500</u>		
<u>100</u>		<u>296,900</u>	<u>344,800</u>			<u>100</u>		<u>296,900</u>	<u>344,800</u>		
<u>101</u>		<u>297,100</u>	<u>345,100</u>			<u>101</u>		<u>297,100</u>	<u>345,100</u>		
<u>102</u>		<u>297,400</u>	<u>345,500</u>			<u>102</u>		<u>297,400</u>	<u>345,500</u>		
<u>103</u>		<u>297,800</u>	<u>345,900</u>			<u>103</u>		<u>297,800</u>	<u>345,900</u>		
<u>104</u>		<u>298,100</u>	<u>346,300</u>			<u>104</u>		<u>298,100</u>	<u>346,300</u>		

現行					改正案				
<u>105</u>			<u>298,300</u>	<u>346,800</u>	<u>105</u>			<u>298,300</u>	<u>346,800</u>
<u>106</u>			<u>298,600</u>	<u>347,200</u>	<u>106</u>			<u>298,600</u>	<u>347,200</u>
<u>107</u>			<u>299,000</u>	<u>347,600</u>	<u>107</u>			<u>299,000</u>	<u>347,600</u>
<u>108</u>			<u>299,300</u>	<u>348,000</u>	<u>108</u>			<u>299,300</u>	<u>348,000</u>
<u>109</u>			<u>299,500</u>	<u>348,500</u>	<u>109</u>			<u>299,500</u>	<u>348,500</u>
<u>110</u>			<u>299,900</u>	<u>348,900</u>	<u>110</u>			<u>299,900</u>	<u>348,900</u>
<u>111</u>			<u>300,300</u>	<u>349,200</u>	<u>111</u>			<u>300,300</u>	<u>349,200</u>
<u>112</u>			<u>300,600</u>	<u>349,500</u>	<u>112</u>			<u>300,600</u>	<u>349,500</u>
<u>113</u>			<u>300,800</u>	<u>350,000</u>	<u>113</u>			<u>300,800</u>	<u>350,000</u>
<u>114</u>			<u>301,000</u>		<u>114</u>			<u>301,000</u>	
<u>115</u>			<u>301,300</u>		<u>115</u>			<u>301,300</u>	
<u>116</u>			<u>301,700</u>		<u>116</u>			<u>301,700</u>	
<u>117</u>			<u>301,900</u>		<u>117</u>			<u>301,900</u>	
<u>118</u>			<u>302,100</u>		<u>118</u>			<u>302,100</u>	
<u>119</u>			<u>302,400</u>		<u>119</u>			<u>302,400</u>	
<u>120</u>			<u>302,700</u>		<u>120</u>			<u>302,700</u>	
<u>121</u>			<u>303,100</u>		<u>121</u>			<u>303,100</u>	
<u>122</u>			<u>303,300</u>		<u>122</u>			<u>303,300</u>	
<u>123</u>			<u>303,600</u>		<u>123</u>			<u>303,600</u>	
<u>124</u>			<u>303,900</u>		<u>124</u>			<u>303,900</u>	
<u>125</u>			<u>304,200</u>		<u>125</u>			<u>304,200</u>	